

2016年夏号 仙台市

農政だより



発行 仙台市経済局農林部(農政企画課、農業振興課、農林土木課)
〒980-8671 青葉区国分町3丁目7-1 電話 022-214-8265(農政企画課) FAX 022-214-8338
ホームページ http://www.city.sendai.jp/business/d/keizai_03.html
Eメール kei008110@city.sendai.jp(農政企画課)

農業園芸センターがリニューアルオープンしました

農業園芸センター(愛称「みどりの杜」)は、震災から5年を経て、平成28年4月から民間事業者による運営が開始される新たな節目を迎えました。



リニューアルオープン式典テープカットの様子

4月29日には、リニューアルオープン記念式典が開催され、多くの来賓及び市民の方々がセンターの新たな門出を祝いました。

ゴールデンウィーク期間中には、センターの歴史を伝えるパネル展や農産物販売会、6月上旬には「バラ祭り」などの様々な催し物が開催され、多くの方で賑わいました。今後も、様々なイベントや季節の移ろいを感じられる草花を楽しんでいただけますので、お誘い合わせのうえ、是非お越しください。

また、センターでは、果樹栽培や農業複合経営に関する研修事業等の農業者の育成や支援を目的とした様々な事業を展開しています。詳しくは、各事業者にお問い合わせ合わせいただくか、各ホームページをご覧ください。

【イベント担当】 日比谷アメニス・日比谷花壇 共同事業体 電話：288-0811 http://sendai-nogyo-engei-center.jp/	
【研修事業担当】 仙台ターミナルビル(株) 荒井事業所 電話：762-9688 http://stbl-fruit-farm.jp/	

【農政企画課
農食ビジネス推進室
214・8266】

**米粉製粉機を
ご利用ください**

農業園芸センター加工棟の米粉製粉機が、光熱費等の実費負担のみでご利用いただけます。

◆利用できる方 市内在住の農業者

◆利用料金 30分100円(税別)
※10キログラムの米で約1時間強の時間がかかります。

◆利用方法 左記農業園芸センターへ直接予約してください。

【農業園芸センター
288・0811】
【農政企画課
農食ビジネス推進室
214・8266】

仙台東部地域の ほ場整備の進捗状況

津波被害を受けた市内東部の農地において、東北農政局による大区画化を主体としたほ場整備工事が進められています。

これまでに約400haの工事が完了しており、平成28年度は、岡田前地区、神屋敷地区、笹屋敷地区で営農が再開されました。

また、現在約530haの農地で工事が施工中であり、平成28年度は新たに約600haで工事に着手する予定です。



仙台東部道路上空からのほ場整備状況

今後関係機関等と連携しながらほ場整備事業の早期完成を目指します。

【農林土木課ほ場整備推進室
214・7328】

「仙台枝豆プロジェクト」を進めています！

「仙台枝豆プロジェクト」は、仙台に適した品種の選定や、都市型農業を活かした流通システムの確立により、高品質な枝豆を提供し、仙台産枝豆の高付加価値化・ブランド化を目指す取り組みです。高付加価値化で農業者の収益増加につなげ、市内の飲食店等で地元消費者や観光客にPRすることにより、地域経済の活性化を図ります。

昨年度に引き続き、若林区日辺・荒井、太白区西多賀の農業者の方々に枝豆栽培のご協力をいただき、次の取り組みを行っています。

□試験栽培 仙台の気候や農地に適した枝豆の品種を選定するため、早生から晩生の11品種を栽培しています。

□食味分析・成分分析 宮城大学食産業学部と連携し、収穫後の枝豆の温度管理、収穫時期などによる成分比較に加え、人の味覚・嗅覚による官能検査を実施し、品種ごとの特徴を消費者に分かりやすく説明できるようにします。

□飲食店での

今朝採り枝豆提供

7月から10月に、その日の朝に収穫した枝豆を、期間・数量限定で市内の飲食店で提供しています。

提供する飲食店では、ポスターやPOP広告を掲示して、仙台産枝豆をPRします。

□PR事業

フェイスブックやブログで事業の情報発信をするほか、各種メディアを活用して、地元消費者や観光客に仙台産枝豆の美味しさをPRします。

プロジェクト参加に興味のある農業者の方は左記へお問い合わせください。



フェイスブックURL：
<https://www.facebook.com/sendaidamame>

【農政企画課

農食ビジネス推進室

214・8266】

若手芸人が農村地域の活性化に取り組んでいます

平成28年度から太白区坪沼地区において、交流人口や農業収入の増加、地域ブランド力の向上を目的に、地域住民や(株)吉本興業と連携しながら、都市農村交流活性化事業に取り組んでいます。

その一環として、(株)吉本興業所属の若手お笑いコンビ「キングビスケット」が4月から1年間坪沼地区に住み込み、地域の方々とともに米作りを中心とした営農活動や地区の各種行事等へ参加し、SNS等によりその魅力を発信しています。

▼左からロバート馬場さん、キングビスケット平井さん、藤城さん



農業で住みます芸人仙台サイトURL：
<http://www.yoshimoto.co.jp/sumimasu/agriculture/sendai/>

また、5月7日には、人気お笑いトリオ「ロバート」の馬場裕之さんが坪沼を訪れ、一般参加者約60人と一緒に田植イベントに参加しました。収穫した米は「ロバート馬場米(仮称)」として販売する予定です。

【農政企画課企画調整係

214・8265】

仙台市からのお知らせ

減農薬・減化学肥料促進事業実施予定者を募集します

安全・良質な農産物の生産方式を進めるため、減農薬・減化学肥料への取り組みに必要なマニアスプレッターや除草機などの機械の導入に対する支援を行います。

◆対象者 3戸以上の営農集団(構成員の2/3以上がエコファーマーであること)

◆支援内容 減農薬・減化学肥料に必要な機械等

◆補助率 事業費の1/3以内(上限40万円)

導入を希望する方は、8月末日までに左記へお問い合わせください。

【農業振興課生産振興係

214・8335】

6次産業化への

取り組みを支援します

○6次産業化に必要な経費を補助します

6次産業化への取り組みを支援するために、農産加工に必要な機械・器具（真空包装機、野菜乾燥機、冷蔵ショーケース、スチームコンベクションオーブンなど）や商品開発に必要な調査等（マーケティング調査、商品ブランディング、パッケージ開発費など）の経費の一部を補助します。

対象者	認定農業者、認定新規就農者、農地所有適格法人、農業者3戸以上で構成する任意団体、又は保健所の営業施設の許可・登録(菓子製造業、漬物など)を取得している農業者であり、市や国、県の6次産業化の人材育成講習や専門家派遣等を利用しているか今年度中に利用する予定の方
補助内容	対象経費の1/2以内(予算の範囲内で、機械・器具は100万円以内、調査・開発等は10万円以内)

○専門家を派遣します

6次産業化を進めようとしている農業者の方に対して、パッケージデザイン、HPの作成、商品等のチラシ作成、販売促進のための装飾、レシピア開発、販路拡大などに関する指導や助言

を行う専門家を派遣します。

対象者	農地所有適格法人、農業者3戸以上で構成する任意団体、認定農業者、保健所の営業施設の許可・登録を取得している農業者
費用	無料
派遣回数	年度内5回まで

それぞれについての詳細は、左記へお問い合わせください。
【農政企画課 農食ビジネス推進室
214・8266】

花きの新品目・新資材

導入への支援を行います

花き花木生産農家の育成及び花き等の生産量の増加のため、新たな品目等への取り組みや新資材の導入に対して支援を行います。

- ◆対象者 花き花木を生産し、「たなばたけ」高砂支店や市場へ出荷する農業者や営農集団
- ◆支援内容 新たに導入する品目・品種の種子や球根、資材等の購入
- ◆補助率 事業費の1/3以内(上限4万円)

導入を希望する方は、8月末日までに左記へお問い合わせください。

【仙台市花卉園芸振興協議会(農業振興課生産振興係内)
214・8335】

農薬は適正・安全に

使いましよ

農産物から残留基準値を超える農薬が検出される等の事故が発生すると、仙台産農産物全体の信用が落ちることにつながる恐れがあります。

安全・安心な農産物を生産するため、農薬は使用基準を遵守し、飛散防止策を徹底するなど、次の事項に注意して、責任を持って正しく使用しましょう。

ラベル記載事項の確認を

農薬ラベルに農林水産省の登録番号が表示されている農薬のみ使用できます。ラベルに記載された対象作物と適用病害虫を確認し、希釈倍率、使用時期や総使用回数、使用上の注意事項等を守って使用しましょう。

生産履歴を保管する

農薬を使用した年月日、場所、農薬の商品名、単位面積当たりの使用量又は希釈倍率について、生産履歴等を記載し、一定期間保管しましょう。

周辺環境への配慮を

無風又は風が弱い時を選び散布する、ノズルの向きに注意する、飛散を抑制するノズルを使用するなど、対象外の作物や周辺への飛散防止に努めましょう。また、人通りが多い場所等での作業時は、看板設置等で周知を

行うなどの配慮をしましょう。

農薬の事故を防止する

作業時には、マスクや手袋等を着用し、強風下や長時間連続での作業を避け、事故を未然に防ぎましょう。

保管は鍵のかかる保管庫で

農薬の保管は必ず鍵のかかる保管庫で行いましょう。保管場所には農薬の使用状況を記録する記録簿を備え、在庫状況を確認できるようにしましょう。また、農薬は必要となる時期に必要な量だけを購入しましょう。

【農業振興課生産振興係
214・8335】

立木を伐採する際には

届出が必要です

森林の整備及び保全に関する基本的な方向と目標・基準を定める地域森林計画の対象となっている国有林以外の民有林で、保安林や保安施設地区以外の森林において立木を伐採する場合には、伐採開始日の90日前から30日前までに市への届出が必要です。

なお、保安林や保安施設地区内の森林の場合は、県への手続きが必要となります。

立木の伐採計画等がある場合は、お早めに左記へご相談ください。

【農林土木課林務係
214・8264】

「全共宮城大会」に向けた プレ全共を開催します

5年に一度、全国から選ばれた和牛が一堂に会し、体型や肉質などを競い合う全国大会「第11回全国和牛能力共進会」が、平成29年9月に宮城県で開催されます。

本大会を1年後に控え、県産和牛の日本一獲得と大会運営の成功を祈念し、本番を想定したプレ大会を開催します。

9月10日(土)には、一般の方に向けたイベントを開催しますので、皆様のご来場をお待ちしています。

開催日 及び 開催場所	9月10日(土) 9:30~14:30 みやぎ総合家畜市場 (美里町北浦字生地22-1)
イベント 内容	・仙台牛PR・県産和牛試食コーナー ・県内各地の地場産品PRコーナー ・ステージイベント ・全共宮城大会マスコットキャラクター「牛政宗」くんと記念撮影
問合せ先	第11回全国和牛能力共進会 宮城県実行委員会事務局 電話 022-714-2982



全共宮城大会
マスコットキャラクター
牛政宗(うしまさむね)

【農業振興課生産振興係】
214・8335

多面的機能支払交付金 制度により地域の共同 活動を支援します

多面的機能支払交付金制度は、農地の維持のほか、水路の草刈り・泥上げ、農道の路面維持、施設の軽微な補修、花の植栽による景観形成など地域の共同活動を支援する制度です。

現在、市内では、45組織が農業振興地域内の農用地区域において活動しており、水路・農道等の保全管理に大きな成果を挙げています。

市では、今後も農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮のため、地域の共同活動に対して支援を行います。



花の植栽の様子(秋保町境野)

来年度以降、新たに制度への取り組みをお考えの地域の方は、左記へご相談ください。

【農業振興課地域支援係】
214・8334

わらアート「空想動物園」 2016」を開催します

平成27年12月の地下鉄東西線開業イベントで大好評だった「わらアート」。今年も若林区内の被災農地で収穫した稲わらを使用して制作・展示します。

イベントで大人気だったトリケラトプスをはじめ、ステゴサウルスやティラノサウルスなど、高さ約4mの迫力ある恐竜たちが登場します。展示開始日には、オープニングイベントも予定していますので、ぜひお越しください。

▼大人気だったトリケラトプス



フェイスブックURL:
<https://www.facebook.com/wakudoki5waka/>

◆展示期間(予定) 9月17日(土)から11月27日(日)
◆会場 農業園芸センター
【若林区まちづくり推進課】
282・1111

「堀DAY(ホリデー)マップ」を配布しています

市内東部を流れる六郷堀・七郷堀は、江戸時代初期に開削されたといわれ、防災・生活用水・舟運にも利用されてきた歴史のある農業用水路です。その隠れた魅力や見どころを紹介した地図「堀DAYマップ」を六郷堀・七郷堀を訪ねてくを市民スタッフ「六・七郷堀サポーターズ」が作成しました。堀沿いを歩き、注意深く観ると、地域の魅力がその周りに残されています。明治から大正にかけての地図も併せて掲載していますので、堀の今昔に思いを馳せながら、ぜひご覧ください。この地図を手に持って、堀の魅力を探し出してみてください。



フェイスブックURL:
<https://www.facebook.com/6.7sapo/>

◆配布場所 市役所本庁舎市民のへや、各区役所総合案内、各区中央市民センター
【若林区まちづくり推進課】
282・1111
【農林土木課整備係】
214・8268